

公益社団法人 日本地下水学会
2025 年度 第 5 回 理事会議事録

1. 開催日時：2025年8月23日(土)13:30-17:05

2. 開催場所：京橋区民館 1 号室、Web 会議

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：13人

○：出席、×：欠席

理事	遠藤 崇浩	×	理事	久保田 富次郎	○*
理事	阪田 義隆	○*	理事	杉田 文	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	高木 一成	○
理事	竹内 真司	○	理事	辻村 真貴	×
理事	中川 啓	○*	理事	西田 憲司	○
理事	増岡 健太郎	○	理事	宮越 昭暢	○*
理事	山中 勝	○	理事	吉岡 真弓	○*
理事	吉田 広人	○*			

*Web にて出席

5. 出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○	監事	五藤 幸晴	○*
----	-------	---	----	-------	----

*Web にて出席

6. 議長の氏名：会長 杉田 文

代表理事 杉田 文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13 時 30 分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況

- ・ 2025年6月21日(土) 日本地理学会100周年記念シンポジウム・式典 出席
- ・ 2025年6月23日(月) 2025年度 第1回 地球・資源分野JABEE委員会 出席
- ・ 2025年7月8日(火) 第27回日本水大賞、2025日本ストックホルム青少年水大賞 表彰式
(瀬尾副会長 代理出席)

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 増岡 健太郎

10. 理事会資料

- ・ 資料 1 : 2025 年度 第 5 回理事会議事次第
- ・ 資料 2-1 : 2025 年度第 4 回理事会議事録
- ・ 資料 2-2 : 20250616 臨時審議（入会の承認）_議決記録
- ・ 資料 a（4 種）：審議資料
- ・ 資料 b（3 種）：協議資料
- ・ 資料 c（14 種）：報告資料

【審議事項】

第1号議案：入会の承認（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-1a, 1b)

- ・ 正会員 6 名について、入会を承認した。
- ・ 退会者のうちの 1 名の理由が『8. その他（産休・育休の取得により学会活動の継続が難しいため）』であった。女性会員の産休取得に伴う特例措置を含め、当学会における休会制度について、総務委員会で検討することとした。

第2号議案：企業冠賞の実施方針（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-2a, 2b)

- ・ 企業冠賞の実施方針について、「若手地下水研究助成 奨励賞」の受賞者と、春・秋の講演会での若手優秀講演賞の受賞者（各 1 名）とする審議資料記載『D 案』で検討を進めていくことを決定した。また、表彰は来年度から実施する予定で準備を進める。
- ・ 表彰規程に定める「研究奨励賞」の受賞者についても企業冠賞の対象とする方針で検討を進める。
- ・ その他、詳細については、引き続き WG での検討を進める。変更する必要がある規程については、次回の理事会で審議する。
- ・ 学会誌およびメールニュース・HP など、2026 年春季講演会より企業冠賞を行う旨をアナウンスする。

【協議事項】

①会費未納、上期監査について（会計委員会：資料 b 協議_11(会)）

- ・ 会費未納者に対して、連絡担当からの督促を再度行う。
- ・ 上期監査に関連して、各委員会での中間決算を早めに事務局へ連絡する。（各理事）
- ・ 監査の日程は10月初旬を目途に調整する（総務）。

②補欠外部監事について（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-1）

- ・ 外部監事に該当候補者のリストを作成しておく（総務）。その後、内諾をいただく候補者を理事会で選定する。
- ・ 監事の要件について整理する（総務）。
- ・ 補欠外部監事の設置必要性について、公益認定等委員会事務局の担当者へ意見照会を行う（事務局）。

③日本水大賞等について（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-2）

- ・ 瀬尾副会長から、2025日本ストックホルム青少年水大賞の「大賞」に選出された沖縄県立宮古総合実業高校の環境班の生徒2名と担当教員等を秋季講演会（または春季講演会）に招待し、講演していただくことが提案され、了承された。
- ・ 先方の都合に関して、瀬尾副会長から担当教員に連絡をする。
- ・ 地下水学会から何らかの表彰を行う場合には、現状の表彰規程では該当する賞が無い場合、別途の対応が必要になる。
- ・ 今後、同様のことが有った場合に対応できるように検討を進める必要がある。（総務）

【報告事項】

企画委員会：（資料c報告_03(企)）

- ・ 講習会に関して、流域・地下水調査法講演会2025は昨年度の録画を利用したオンデマンド開催であることが報告された。質疑については、期間を設けて対応する予定。
- ・ 過去の総務委員会（昨年4月）で、録画のオンデマンド開催の場合には講師への謝礼を支払わず、規程も変更する必要はないとしていることから、今回も同様の対応とする。
- ・ 地下水シミュレーション講習会については、対面+Web併用で、11月25日(火)に日本大学文理学部で実習無しの形式で開催予定であることが報告された。現在、会告作成中。
- ・ 論文解説セミナーについては、12月6日(土)、12月13日(土)、1月10日(土)で日程調整中であることが報告された。
- ・ シンポジウムは2025年12月～2026年1月での開催を検討中であるとの報告がされた。
- ・ 「地下水・湧水の疑問50」重版（第4刷）が700部完成したとの報告があった。

行事委員会：（資料c報告_04(行)）

- ・ 春季講演会の決算について説明があり、約30万円の黒字であったことが報告された。
- ・ 2025年の秋季講演会に関する説明が行われた。今回より、会員と非会員の参加費に差を設けていること、懇親会参加費についても当日と事前で差を設けていることが報告された。
- ・ 2026年の春季講演会は5月30日(土)に千葉商科大（実行委員長：杉田 文 先生、）、2026年秋季講演会は西条または鳥取（実行委員長：小野寺 真一 先生）で開催予定であることが報告された。
- ・ 2026年の第31回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会については地下水学会が主管学会となり、6月25日(木)～26日(金)で長崎にて開催予定であることが報告された（実行委員長：中川 啓 先生）。

渉外委員会：（資料なし）

- ・ なし（理事欠席）

編集委員会：（資料c報告_06(編)-1）

- ・ 長崎大学の利部 慎 先生が9月の委員会から名水担当の欠員補充として委員に加わることが報告された。

調査・研究委員会：（資料c報告_07(調)）

- ・ 伊藤浩子氏（GRI 財団）、三浦陽介氏（立命館大学）が新しく委員に加わったことが報告された。
- ・ 地域地下水情報データベースに関して、検索条件を整理していることの報告があった。
- ・ 現場透水試験法の海外技術の普及活動に関する研究グループは、版權交渉に伴い、著者との最終調整中であることが報告された。
- ・ 国土数値情報と高度利活用調査・研究グループの内容について秋季講演会にて進捗報告会を予定していることが報告された。
- ・ 能登半島地震に関する調査・研究グループについては、秋季講演会において特別セッションを提案予定であることや、現地報告会（七尾市など）を開催予定であることが報告された（主催：調査研究委員会、詳細未定）。
- ・ PFASによる地下水汚染への対応に関する調査・研究グループの活動報告がされ、WG1（挙動、解析）については秋季講演会での発表予定があると報告された。
- ・ 編集委員でPFASに関する特集号を検討しているが、現時点ではどの程度のボリュームになるかは未定。

市民コミュニケーション委員会：（資料なし）

- ・ 継続して10月25日(土)に東久留米市で開催予定の湧水巡りの準備を実施中との報告があった。

広報・IT委員会：（資料c報告_09(広)）

- ・ ウェブサイトの管理運用と情報発信に関して、お知らせ・一部コンテンツの更新、CMSアカウント設定、アクセス数や検索エンジン等の各種指標の集計と分析を行ったことが報告された。
- ・ ドメイン管理、SNSアカウント管理運用と情報発信（Facebook）、グループウェアの管理運用を実施。
- ・ 事務局メールアドレスの変更について対応したことが報告された。古いアドレスに届いたメールは新しいアドレスに転送される状態となっている。
- ・ 各委員会におけるGWSの利用拡大を目的に、内規の改定を実施したことが報告された。
- ・ 将来的に、メーリングリストのメールを現状のテキストベースからhtml形式に変更することを検討しているとの報告がされた。

YEPS委員会：（資料c報告_10(YE)-1, 2, 3）

- ・ 2025年度の若手地下水研究助成には1名が採択されたとの報告があった。
- ・ 2024年度の若手地下水研究助成採択者4名から研究成果報告書が提出され、受理したことの報告がされた。また、学会誌4号に掲載予定である成果報告（案）が紹介された。
- ・ 上記2024年度の若手地下水研究助成採択者4名に対して奨励賞の選定を行い、2名の受賞が決定したと報告された。
- ・ 2025年若手セミナー・懇親会開催に関して、今秋の講演会で10月16日(木)の午前中に若手セミナーを開催予定であることと、10月15日(水)の夕刻に懇親会を開催予定であることの報告が行われ

た。

- ・懇親会に参加する学生の参加費については、若手セミナーの報告書内で懇親会について言及した上で、会議費としてYEPS予算からの補助を行うこととした。
- ・会議費の利用の明文化について、その可否を含めて総務委員会で検討することにした（会議記録として目的、人数、場所を入れるなど）。

会計委員会：（資料c報告_11(会)）

- ・8月18日(月)現在の会員数、会費納入状況および収入・支出状況が報告され、会費未納状況は前回理事会時点より改善したことが報告された。

表彰委員会：（資料c報告_12(表)）

- ・今年度の表彰計画に関して、2ヶ年工程表の凡例を修正したことが報告された。
- ・名誉会員、永年会員功労賞の候補者の推薦を総務委員会に依頼した。

総務委員会：（資料c報告_13(総)-1, 2, 3a, 3b）

- ・後援共催等の対応状況が報告された。
- ・事務局長より、SMOOSY整備状況と今後の予定が報告された。EM登録済のアドレス情報のSMOOSYへの活用可否について、アトラス社に問い合わせることとした（事務局）。
- ・マイページログインへの対応について、Webサイトへの掲載文案を事務局で検討し、広報・IT委員会でWebサイトに上げることとした。
- ・瀬尾副会長からIAH-Japanに送付した『日本地下水学会 2025年度第4回理事会でのIAH2029に関する議論の概要』が報告された。また、中川理事より、第2回目のIAH2029日本招致に関する意見交換会の議事メモが紹介された。
- ・IAH-Japanに関しては、2029年の日本開催に対する見解説明の場を、IAHメルボルン大会後に設けることとした。その上で、地下水学会としての方針を検討することとした。

無任所：（資料なし）

- ・なし（総務報告事項でのIAH2029日本招致に関する内容のみ）

事務局：（資料なし）

- ・なし（総務報告事項でのSMOOSY整備状況に関する内容のみ）

監事：

- ・外部監事候補について、公益社団法の必須条件でもあるため、早めのリスト化の指示があった。
- ・理事会資料の提出について、〆切日を遵守してほしいとの指摘があった。

以上をもって議事を終了したので、議長は17時05分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2025年8月27日

公益社団法人日本地下水学会 理事会